

子ども服リユース「おゆずりぐるり」～市民団体と行政の協働による使用済み子ども服の回収・配布の推進と仕組みづくり～ (特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21)

- 各家庭で眠っている使用済み子ども服について、豊中市内の公共施設等の常設拠点や、図書館等のイベント会場で回収、無料配布を行った。また、110cm以上のサイズが供給不足であったため、小学校やコープこうべの店舗に回収ボックスを設置。
- 常設拠点の職員は子ども服の補充等の対応が十分にできないことも多いため、コーディネーターやボランティアがサポート。取組みのノウハウをまとめたコーディネーターの手引きも作成。
- シミ・汚れなどリユース困難な子ども服を原材料にした回収ボックスの制作等を実施。

事業の全体像

子ども服は豊中市や環境交流センターが保管して相互に連携。イベントは環境交流センターと連携団体が協力実施。常設拠点は、連携団体のコーディネーターと、募集した市民のボランティアが訪問。

取組の様子

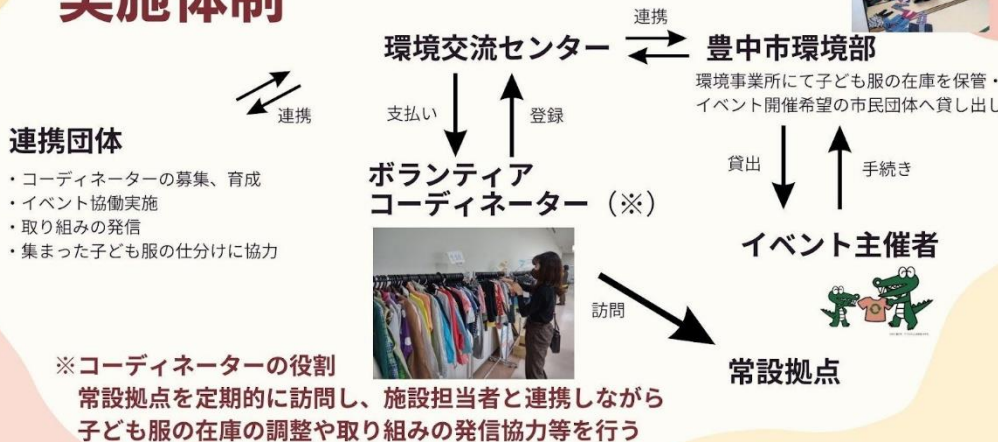


常設拠点での回収・配布



イベントの実施

実施体制



取組の成果

- 事業の達成状況
 - 子ども服の配布 11,844枚、回収 16,912枚、参加者 3,541人
 - ボランティア体験会 参加者23人（うち登録19人）
- 事業の効果
 - 豊中市の資源化可能な繊維類の削減の約0.23%
 - 豊中市の家庭部門から排出されるCO2の約0.043%
 - 子ども服配布による家計支援の効果 約590万円相当（概算）